



小山利枝子(絵画)
《種子の秘密》2003年 文化庁蔵
文化庁許可済



辰野登恵子(絵画)
《UNTITLED91-24》1991年
セゾン現代美術館蔵

KITAZAWA
Kazunori
KOBAYASHI
Kisei
KOMATSU
Yoshikazu

NEGISHI Yoshiro
MATSUZAWA
Yutaka

MARUTA
Kyoko

FUJIMORI
Terunobu

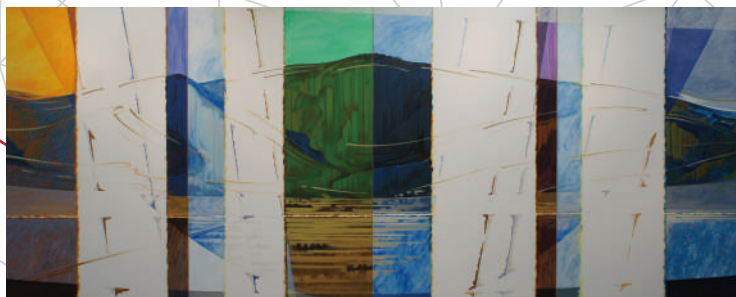
MOTAI
Toshiya

TOYA Shigao

KOYAMA
Rieko
TATSUNO
Toeko

戸谷成雄(彫刻)

《双影景(ミニマルバロックⅣ)》2008年 作家蔵
撮影:山本想太郎



母袋俊也(絵画)
《M436 TA・TARO 2》2011年 作家蔵

SHINBIS  長野県芸術監督団事業
シンビズム 4

信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち

問い合わせ＝一般財団法人 長野県文化振興事業団(芸術文化推進室)
電話026-223-2111 info@shinbism.jp

<https://shinbism.jp/>

シンビズム 映画



芸術文化振興基金助成事業

[上田会場]

2021.2.13 sat 3.14 sun

9:00-17:00 休館日＝火曜日(祝日の場合は翌日)

入館料＝一般500円、高校生以下無料

上田市立美術館

長野県上田市天神3-15-15 サントミューゼ内 電話0268-27-2300

[安曇野会場]

2021.8.14 sat - 9.12 sun 安曇野市豊科近代美術館

北澤一伯、小林紀晴、小松良和、根岸芳郎、松澤有、丸田恭子、藤森照信



戸谷成雄（彫刻）

《双影景（ミニマルバロックⅣ）》2008年 作家蔵
撮影：山本想太郎



母袋俊也（絵画）

《M436 TA・TARO 2》2011年 作家蔵



小山利枝子（絵画）

《種子の秘密》2003年 文化庁蔵 文化庁許可済

一般財団法人長野県文化振興事業団・長野県では、長野県芸術監督団事業として県内の公立、私立施設やフリーのさまざまなキャリアの学芸員の共同企画による展覧会の第四弾「シンビズム4」を開催いたします。本展は、これまでの集大成として、長野県の戦後の現代美術史をたどるうえで重要な作家に焦点をあてました。展覧会名の「シンビズム」は、「信州の美術の主義」を表しますが、ほかに

辰野登恵子（絵画）

《UNTITLED91-24》1991年 セゾン現代美術館蔵

「新しい美術」「真の美術」「親しい美術」などの意味を込めています。市民と作家および作品をつなぐ学芸員の意識共有や資質の向上を図り、県内ミュージアムのネットワーク化を促進することで、作家への全県的な支援や、市民のみなさまへのより多彩で豊かな情報提供をめざしています。会期中には様々なイベントも開催します。詳しくは、「シンビズム」公式サイトやお電話にてお問い合わせください。

■上田会場 主催＝一般財団法人長野県文化振興事業団、長野県、上田市（上田市立美術館）、上田市教育委員会 共催＝信濃毎日新聞社

■安曇野会場 主催＝一般財団法人長野県文化振興事業団、長野県 共催＝安曇野市、安曇野市教育委員会

■「シンビズム4－信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち」展

全体監修＝本江邦夫（長野県芸術監督、多摩美術大学名誉教授） 顧問＝松本透（一般財団法人長野県文化振興事業団理事、長野県信濃美術館長） 運営アドバイザー＝石川利江（ISHIKAWA地域文化企画室代表） 企画・構成＝信州ミュージアム・ネットワーク「シンビズム」展ワーキンググループ：中嶋実（小海町高原美術館）、工藤美幸（佐久市）、佐藤聡史（丸山晩霞記念館）、大竹永明（東御市梅野記念絵画館・ふれあい館）、由井はる奈・宮下真美（軽井沢ニューアートミュージアム）、小笠原正・清水雄・山極佳子（上田市立美術館）、加藤泰子（心の花美術館 in 上田）、丸山綾（諏訪市教育委員会）、前田忠史・中田麻衣子（茅野市美術館）、鮎澤諭志（岡谷市）、宇治美弥子（市立岡谷美術考古館）、赤羽義洋（アンフォルメル中川村美術館）、長田絵美・武井文一・小松由以（信州高遠美術館）、武井敏（公益財団法人礪山美術館）、三澤新弥（安曇野市教育委員会）、富永淳子（安曇野高橋節郎記念美術館）、塩原理絵子（安曇野市豊科近代美術館）、伊藤幸穂（木曾町教育委員会）、前澤朋美（信州新町美術館）、梨本有見（須坂版画美術館）、田中新十郎（田中本家博物館）、阿部澄夫（一般社団法人一本木公園バラの会 信州中野銅石版画ミュージアム）、鈴木一史（山ノ内町立志賀高原ロマン美術館）、矢ヶ崎結花（太田市美術館・図書館）、小林宏子（前中野市立博物館）、伊藤羊子（一般財団法人長野県文化振興事業団）



小松良和(絵画、インスタレーション)
《作品》 1984年 個人蔵



北澤一伯(彫刻、パフォーマンス)
《段丘地の台座》 2016年 作家蔵



松澤 有(観念美術)
《御射山奥社密儀》 1970年 撮影:羽永光利



藤森照信(建築)
《空飛ぶ泥舟》 2010年 提供:茅野市美術館



丸田恭子(絵画)《円になる》 2017年 作家蔵

KITAZAWA
Kazunori
KOMATSU
Yoshikazu
KOBAYASHI
Kisei
NEGISHI
Yoshiro
FUJIMORI
Terunobu
MARUTA
Kyoko



小林紀晴(写真)
《和合の念仏踊り(長野県阿南町)》
2013年 作家蔵



根岸芳郎(絵画)《19-10-7》 2019年 作家蔵

東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラム「信州・アート・リングス〜文化でつながる。文化を創る。そして美しい未来へ〜」

SHINBIS 長野県芸術監督団事業
シンビズム4

2021.8.14 sat 9.12 sun

9:00-17:00(入館は16:30まで) 休館日=月曜日(8/16は開館)
入場料=一般500円、高校生以下無料

安曇野市豊科近代美術館

長野県安曇野市豊科5609-3 電話0263-73-5638

信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち

主催=一般財団法人長野県文化振興事業団、長野県 共催=安曇野市、安曇野市教育委員会、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

問い合わせ=一般財団法人 長野県文化振興事業団(芸術文化推進室) 電話026-223-2111 info@shinbism.jp https://shinbism.jp/ シンビズム 検索

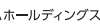


TOKYO 2020
NIPPON
FESTIVAL

Tokyo 2020 NIPPON Festival Official Partner

Tokyo 2020 NIPPON Festival Supporting Partner

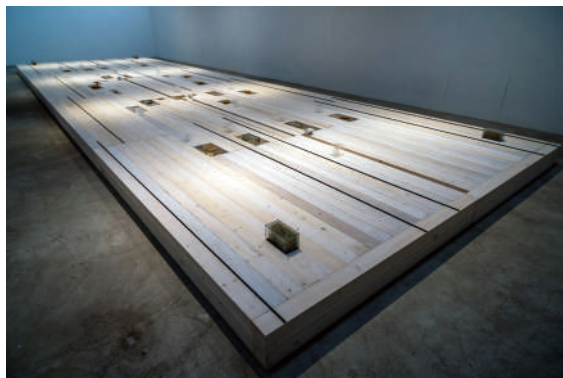
Tokyo 2020 NIPPON Festival Associating Partner



公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

一般財団法人長野県文化振興事業団・長野県では、長野県芸術監督団事業として県内の公立、私立施設やフリーのさまざまなキャリアの学芸員の共同企画による展覧会の第四弾「シンビズム4」を開催いたします。

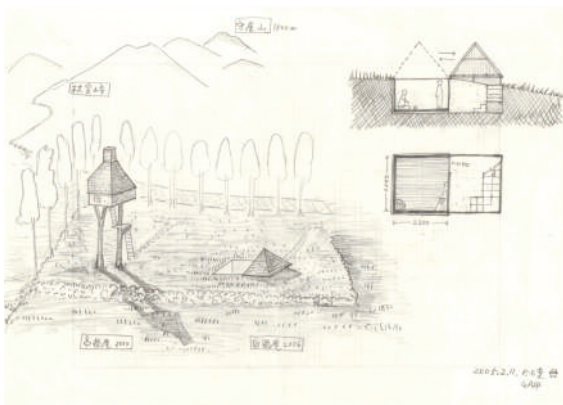
本展は、これまでの集大成として、長野県の戦後の現代美術史をたどるうえで重要な作家に焦点をあてました。展覧会名の「シンビズム」は、「信州の美術の主義」を表しますが、ほかに「新しい美術」「真の美術」「親しい美術」などの意味を込めています。市民と作家および作品をつなぐ学芸員の意識共有や資質の向上を図り、県内ミュージアムのネットワーク化を促進することで、作家への全県的な支援や、市民のみなさまへのより多彩で豊かな情報提供をめざしています。会期中には様々なイベントも開催します。詳しくは、「シンビズム」公式サイトやお電話にてお問い合わせください。



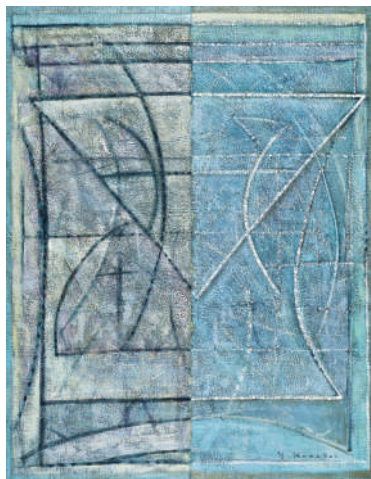
北澤一伯（彫刻、パフォーマンス）
《場所の仕事 光の筏》 2017年 作家蔵



根岸芳郎（絵画）
《17-8-21》 2017年 作家蔵



藤森照信（建築）
《高過庵と低過庵》 2005年 茅野市美術館蔵



小松良和
（絵画、インスタレーション）
《窓の思考》 1984年 個人蔵



小林紀晴（写真）
《藤守の田遊び（静岡県焼津市）》
2014年 作家蔵



松澤 有（観念美術）
《日本建国史》 1961年 個人蔵



丸田恭子（絵画）《素時間 #1 #2 #3》 2012年 作家蔵

■「シンビズム4ー信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち」展

全体監修＝本江邦夫（長野県芸術監督、多摩美術大学名誉教授） 顧問＝松本透（一般財団法人 長野県文化振興事業団理事、長野県立美術館長） 運営アドバイザー＝石川利江（ISHIKAWA地域文化企画室代表） 企画・構成＝信州ミュージアム・ネットワーク「シンビズム」展ワーキンググループ：中嶋実（小海町高原美術館）、工藤美幸（佐久市）、佐藤聡史（丸山晩霞記念館）、大竹永明（東御市梅野記念絵画館・ふれあい館）、由井はる奈、宮下真美（軽井沢ニューアートミュージアム）、小笠原正・清水雄・山極佳子（上田市立美術館）、加藤泰子（心の花美術館 in 上田）、丸山綾（諏訪市教育委員会）、前田忠史・中田麻衣子（茅野市美術館）、鮎澤諭志（岡谷市）、宇治美弥子（市立岡谷美術考古館）、赤羽義洋（アンフォルメル中川村美術館）、長田絵美、武井文一・小松由以（信州高遠美術館）、武井敏（公益財団法人 碌山美術館）、三澤新弥（安曇野市教育委員会）、富永淳子（安曇野高橋節郎記念美術館）、塩原理絵子（安曇野市豊科近代美術館）、伊藤幸穂（木曽町教育委員会）、前澤朋美（信州新町美術館）、梨本有見（須坂版画美術館）、田中新十郎（田中本家博物館）、阿部澄夫（一般社団法人 一本木公園バラの会 信州中野銅石版画ミュージアム）、鈴木一史（山ノ内町立志賀高原ロマン美術館）、矢ヶ崎結花（太田市美術館・図書館）、小林宏子（前中野市立博物館）、伊藤羊子（一般財団法人 長野県文化振興事業団）

